

第3学年2組 学級活動(3)学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材 「読書週間でがんばることを決めよう」

2 学習の構想

【このような子どもだから】

本学級の子どもは、これまでに、学級活動「図書室のきまり」において、本校の図書館のきまりを理解するとともに、そのきまりを守って本を借りたり、返したりすることを実践してきている。また、国語科「図書室たんていだん」の学習において、図書室の本の分類について知り、どの本が、どの場所にあるかなど図書館の工夫についての学習をしてきた。さらに、一昨年度から、学校全体で毎日の朝10分間の読書タイムを設定し、実行してきている。

キャリア教育に関するアンケート（評定尺度法4点）の結果を見ると、苦手なことにも自分から進んで取り組もうとしている児童は3.44Pであった。一方で、分からないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで本で調べている児童は3.16Pであった。また、読書に関するアンケートの結果を見ると、読書に対する興味・関心を示している児童は69%、図書館の利用を週3日以上通っている児童は31%であった。

これらのことから、苦手なことに対して取り組もうという意欲はあるが、読書に対する興味・関心が低く、自ら本を活用して調べるまでには至っていない。

【このような内容を】

本題材は、小学校学習指導要領解説特別活動編に示された指導事項のうち、「(3)ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」をねらいとして設定されたものである。

具体的には、自主的な学習を深める場としての学校図書館の効果的な活用や、学習することの楽しさや価値に気付き、自分に合った効果的な学校図書館の活用方法や学ぶことが将来の自己実現にどうつながっていくかについて考え、主体的に学習することができるようにすることである。ここでは、読書活動によって身に付く力を知り、読書に関する自分に合っためあてを意思決定することができるようにする。

このことは、自ら主体的に学習に取り組む、学習活動を振り返って次に生かす主体的な学びの実現と、生涯にわたって主体的に学び続けようとする態度を育てる上で大変意義深い。

【このような指導で】

本題材の指導にあたっては、本の活用方法や読書によって身に付く力を知り、自分に合っためあてを意思決定することができるようにする。

そのために、本時の指導にあたっては、まず、「つかむ」段階では、自己の現状や課題を把握できるように、事前アンケートの結果を提示する。

次に、「つくる」段階では、本の活用方法や活用することで身に付く力を知ることができるように、図書司書の話や聞く場を設定したり、資料を提示したりする。

そして、「深める」段階では、自分のめあてを解決する方法を考えることができるように、グループで話し合う活動を設定する。さらに、「決める」段階では、今後の実践へつなぐことができるように、自分に合っためあてを意思決定させる。

最後に、「振り返る」段階では、これからの読書活動に生かすことができるように、振り返りを交流する活動を設定する。

【このような視点を意識して】

◎コミュニケーションを図る力 < A 人間関係形成・社会形成能力 >

◎自分を前向きにとらえる力 < B 自己理解・自己管理能力 >

◎見通しをもち、自分の考えをつくる力 < C 課題対応能力 >

◎学ぶこと・働くことの意義や自分の役割を理解する力 < D キャリアプランニング能力 >

【このような子どもに】

< 題材の目標 >

知識及び技能	目標をもつことの大切さを理解し、自分の課題をもとに自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。
思考力、判断力、表現力等	よりよく生活するための課題に気付き、解決方法や目標達成のための方法などについて話し合い、自分に合った方法を意思決定して実践することができる。
学びに向かう力、人間性等	よりよく生活するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して自己実現に向け意欲的に行動しようとする。

3 題材計画（全1時間+課外）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	学習活動	指導上の留意点（○）、評価規準と方法（◇）	視点
一	1 （本時）	本の活用方法や読書によって身に付く力を知り、自分に合っためあてを意思決定する。	○ 本の活用方法や読書によって身に付く力を知ることができるように、図書司書の話を書く場を設定したり、資料を提示したりする。 ○ 自分に合っためあてを意思決定できるように、3つの視点を基にグループでアドバイスをし合う活動を設定する。 ◇ 読書活動に関する自分に合っためあてを意思決定している。 【思考・判断・表現】《観察・ワークシート》	A・C
	課外	自己の目標を達成するために、実践し、振り返る。	○ 目標を達成することができるように、毎朝の10分間の読書時間を必ず確保したり、隙間時間に読書を推奨したりする。 ◇ 学んだことを、日々の読書活動に生かしている。 【主体的態度】《観察・ワークシート》	B・D

4 本時 令和3年11月18日（木） 13:40～14:25 於：3年2組教室

（1）本時のねらい

読書のよさや読書をすることによって身に付く力について図書司書から話を聞いたり、友達とがんばることを話し合ったりする活動を通して、自分に合っためあて（「なりたい自分」と「がんばること」）を意思決定することができるようにする。

（2）本時で意識するキャリア教育の視点



意識する視点	意識する視点の具体
A 人間関係形成・社会形成能力	○ 友達のなりたい自分を聞いて、それに合ったがんばることを考え、アドバイスをすることができる。
C 課題対応能力	○ 図書司書の話や、友達からのアドバイスを基に、自分に合っためあてを意思決定することができる。

（3）準備

事前アンケート、アンケート結果のグラフ、キャリア・パスポート（ワークシート）、動画（読み聞かせボランティアの方）、資料、めあてを書くための話型

（4）展開

過程	学習活動	指導上の留意点（○）と評価規準（◇） 意識するキャリア教育の視点（ <> ）と手だて（◎）
つかむ	1 アンケート結果を基に、本時のめあてをつかむ。 〈アンケート項目〉 ・読書をするのは好きですか。 ・本を読むことは大切だと思いますか。 ・本を読むことでよいことがあると思いますか。	○ 読書に関する自身のよさや課題を明らかにすることができるように、1学期に学級で読んだ本の冊数の平均と個人で読んだ本の冊数が比較できるデータなどを提示する。
	【めあて】 自分をレベルアップさせるために、読書でがんばることを決めよう。	
つくる	2 読書に関わる内容の話を書き、なりたい自分について考える。	○ 読書をすることのよさや、本への興味を引き出すことができるように、図書司書の方などから読書に関する内容の話を書く活動を設定する。

	<p>(1) 読書に関わる内容の話聞く。</p> <p>【学校の読書活動に関わる方の話】 ・ 図書司書・・・読書をするこのよさなど</p> <p>【読書活動に関わる資料を基にした話】 ・ 読書好きな芸能人・・・本への興味関心、時間の使い方について ・ 読書をする人とならない人の違い・・・集中力、理解力、好奇心などについて</p> <p>○ ここでの話を「学習活動2(2)『なりたい自分について考える』活動に生かすことができるように、内容をキーワード化し、板書で整理する。</p>	
<p>深める</p>	<p>(2) なりたい自分について考える。</p> <p>3 なりたい自分になるためにがんばることを話し合い、自分に合っためあてを決める。</p> <p>(1) グループでアドバイスをし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">〈アドバイスをする視点〉 「いつ」 「どのように」 「どのくらい」</p> <p> ぼくは、本を読んで集中する力を付けることができるようになりたいです。</p> <p>集中する力を付けるためには、まずは、読む時間を決めたらよいと思います。だから、「一日に〇分は読む」というような目標を立てたらよいと思います。</p> <p>ぼくも、〇〇さんと同じで集中する力をつけたいのなら、時間を決めたらよいと思います。だから、「少しでも読む時間をつくることができるように、朝の準備ができたなら読書をする」というような目標を立てたらよいと思います。</p> <p> ぼくは、みんなの意見を聞いて、読む時間を決めて、朝の準備ができたなら読書をするをやってみようと思いました。</p> <p>◎ なりたい自分になるためにがんばることを具体化できるように、3つの視点を基に友達とアドバイスをし合う活動を設定する。</p> <p style="text-align: right;">< A 人間関係形成・社会形成能力 ></p> </div>	<p>○ なりたい自分を考えることができない子どもがいたら、具体的な姿をイメージできるように、学習活動2(1)の内容を生かして助言をしたり、机間指導をして個別に支援をしたりする。</p>
<p>決める</p> <p>振り返る</p>	<p>(2) 自分に合っためあてを意思決定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼくは、集中することができる人になるために、朝の準備ができたなら、5分間は読書をする。</p> </div> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼくは、読書をする中で、集中力が付くということが分かりました。○ ○くんが、本を読む時間をつくるためのアドバイスをしてくれて、「これだったら出来そうだ。」と思ったので、やってみようと思いました。</p> </div>	<p>◎ 読書に関する自分に合っためあてを意思決定し、ワークシートに書くことができるように、モデルとなる話型を提示する。</p> <p style="text-align: right;">< C 課題対応能力 ></p> <p>◇ 話し合ったことを生かして、自分に合っためあてを意思決定している。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】《ワークシート》</p> <p>○ 本時の学習を振り返ることができるように、④(分かったこと)⑤(友達の参考になった考え)の2つの視点を基に振り返りを書く活動を設定する。</p>

